

助け合う社会に近づくために

対馬市立豊玉中学校三年

若松 青波

「日本人は親切で礼儀正しい」とよく言われます。でも、それは本当でしうか。イギリスのチャリティ団体が発表した「世界人助け指数」では日本は一四二か国中の一四一位というびっくりするような結果が出ていました。また、目の前で困っている人を見たとす助けけたことがあるか」というアンケート

トでは、五回以上助けたと答えた人は約七割だけだ。たそうです。助けなかった理由には、

「余裕がない」「どうすればいいかわからない」

「勇気が出ない」などがあげられていま

した。私はこれを知ったとき、うーん、あ

かる気がする。と思いましたが、というのも、

私もついこの前、助けられなかったことがあ

ったからです。

その日は学校の帰り道。私はお腹の調子が

イマイチで、早くトイレに行きたい一心で歩

いていました。家はすぐそこ。スーパの隣
です。もうちい。あと三十m！と心
の中でカウントダウンしながらゴールを目標
していました。その時です。スーパの前に
おばあちゃん。が重たそうな荷物を持って立ち
止ま。しいるのを見えました。今？助
けたい気持ちはあるけれど、私の内なるタ
イマーはすでに「残り三分」とかそんな感じ。
ここで止ま。たら、アウトかもしれない。そ
んなギリギリのせめぎ合いの中で、私はそ
と視線をそらし、そのまます家に向か。て歩き
続けました。今でもときどき思い出します。
「あのと。おばあちゃん。大丈夫だ。たがな
と。でもあの時の私には、どうしても余裕が
なか。たのです。一方で私が助けてもら。た
経験もあります。都会に行。たとき、地下鉄
の駅で路線図を見ていたのですが、線は少な
いの。に、ま。たく意味が分からない。どこか
現在地で、どこに行けば良いのか、矢印も記
号も全部がぐるぐるして見えて、頭が真っ白

になりました。そんなとき、近くに住いた人が、
「どこまで行くと？」と声をかけてくれた。
行き方を教えてくれたに教えてくれた。あの
ときの安心感は今でも忘れられません。
人を助けるって、大したことじゃないってい
いんだと思います。ちよっとした声かけや、
立ち止まる勇気があれば、それで充分。困っ
ている人がいたら手を差し伸べられるような
人になりたいし、自分が困っている時も、助
けてください。と言え、自分でありたいです。
そしていつか、日本人は人を助けるのが当
たり前、と言われるような社会になら、
ちよっといいなって思っています。